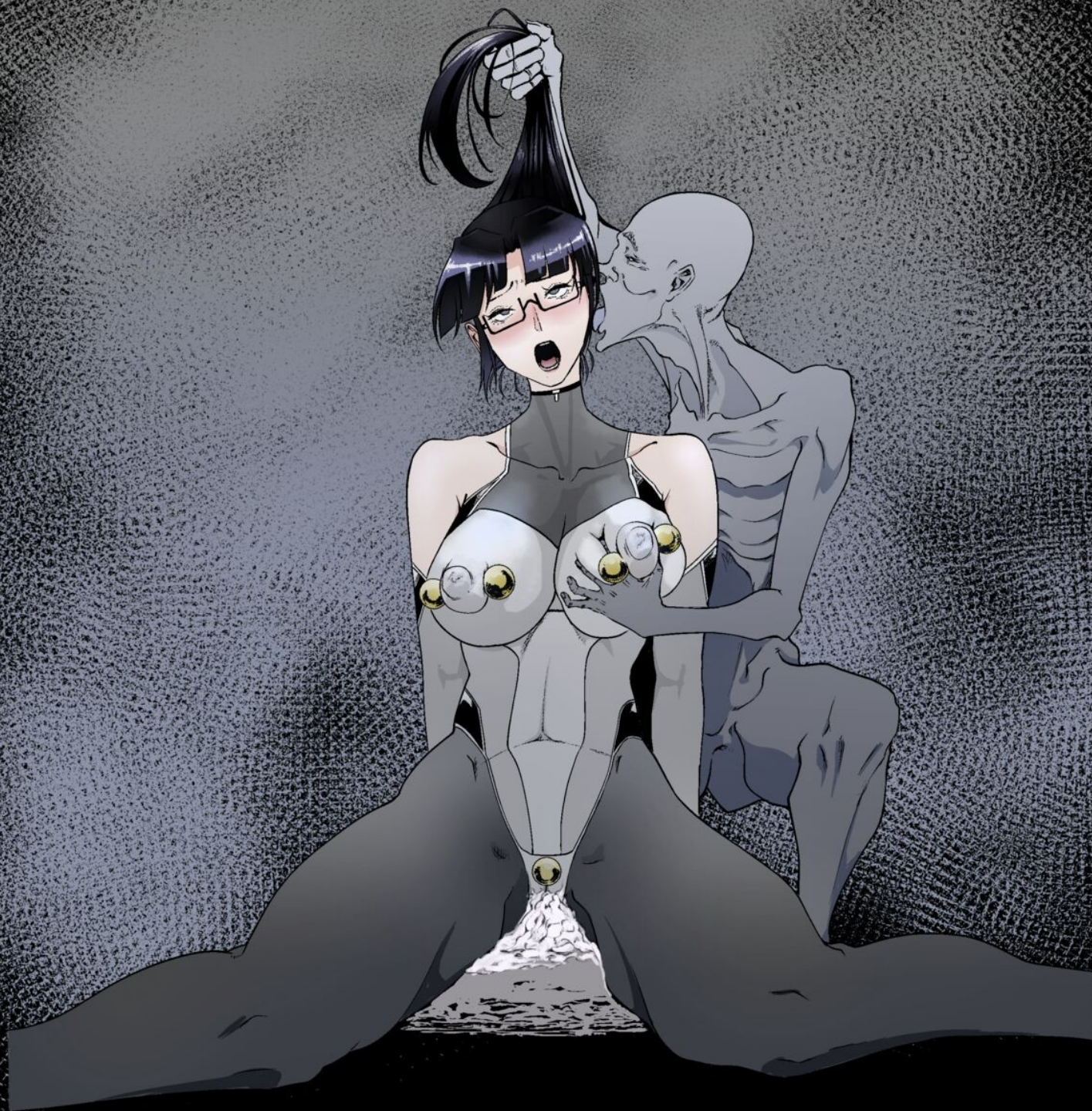
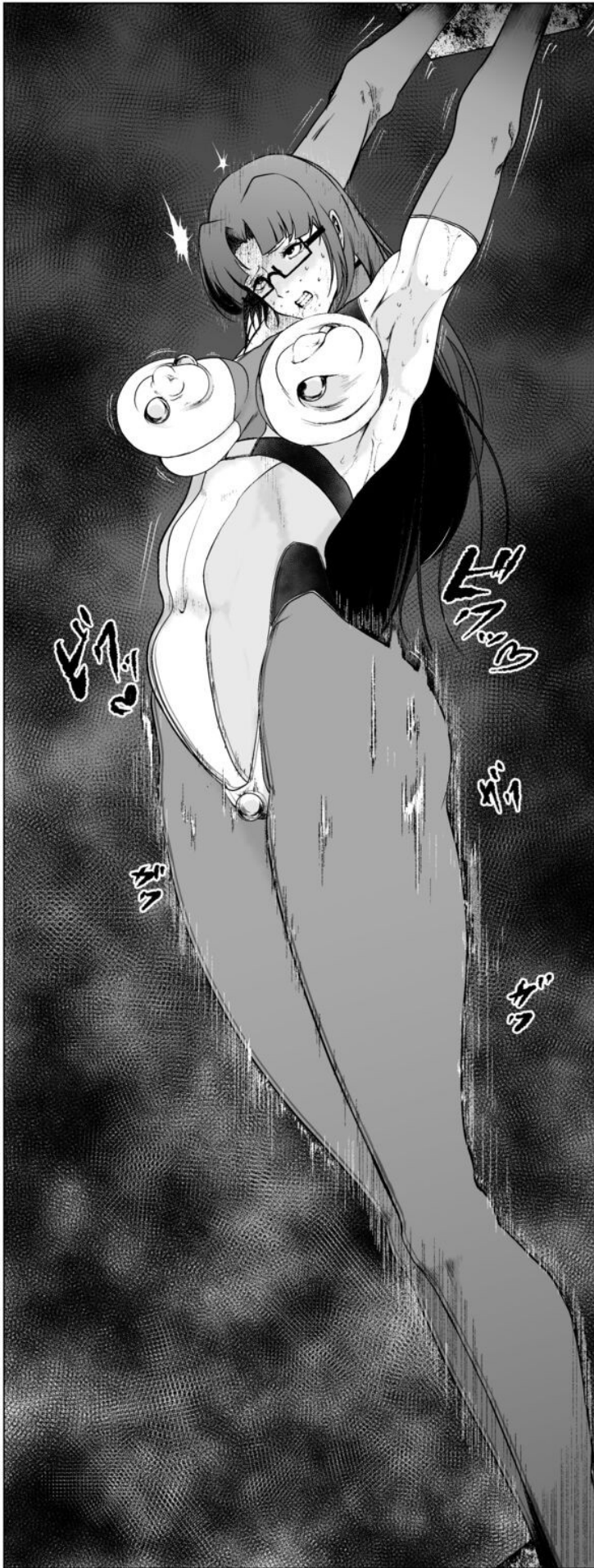
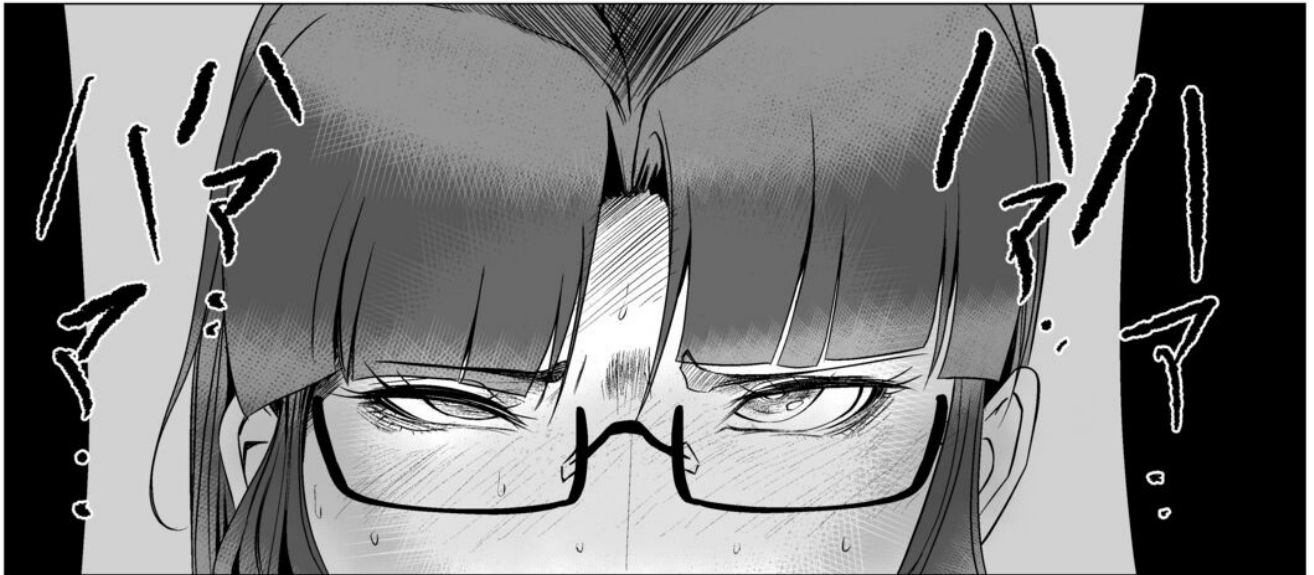


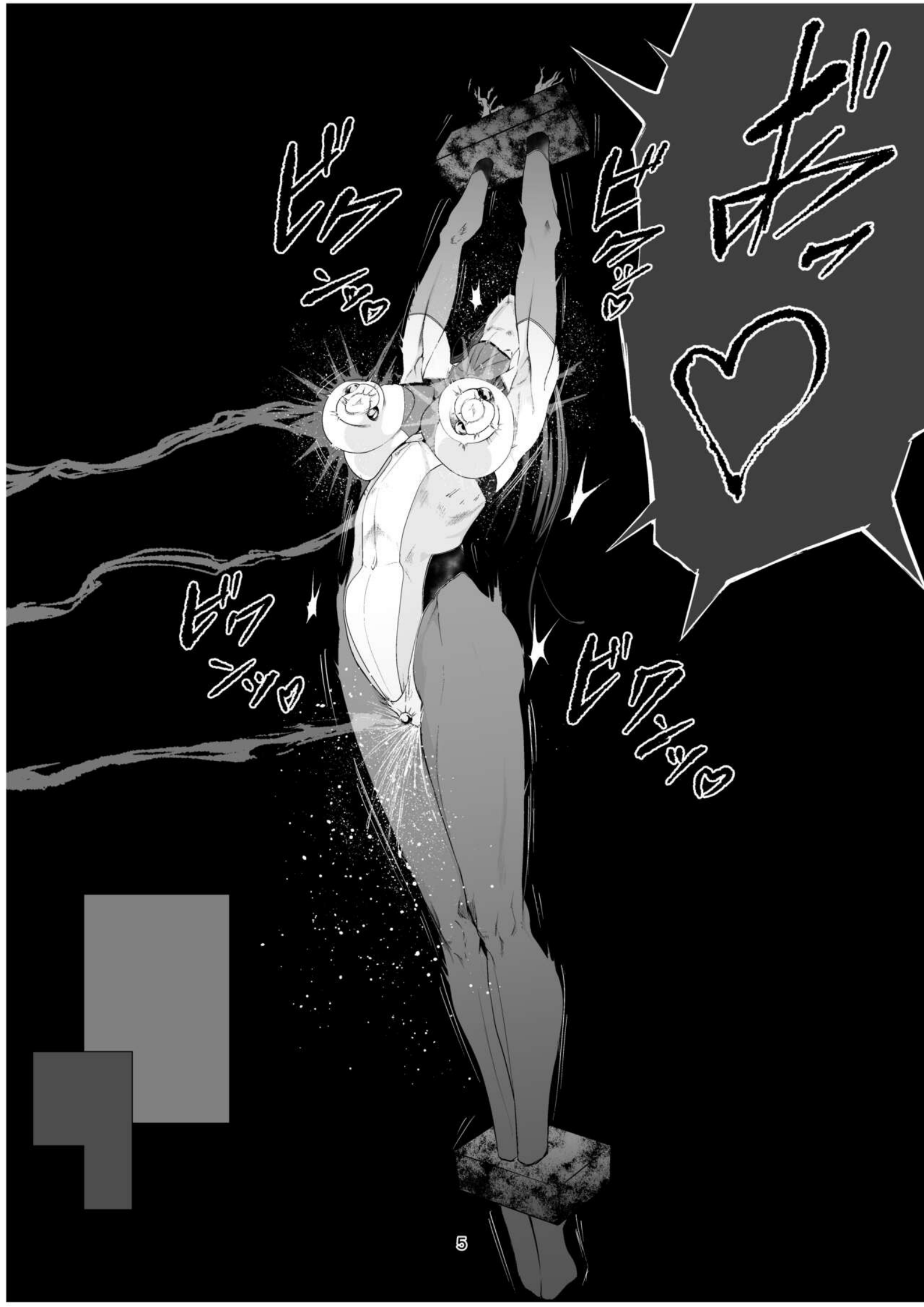
スーパーヒロイン・エマの敗北10













ワシの相手は未亡人か
ひひひひひ
ワシはここで住まわせて
もらっとるジジイじゃ

お前さんの事は
金重会長から
聞いておる

怪人の魔の手により
愛する家族を失い
人類の為に戦う事を選んだと

前職は医者であり
現在はスーパースタイン
のサポートと
戦闘部隊の隊長の役に
ついており

個人的にもエマと
懇意にしておるそうじゃな



ああ硬くならんでええ
ワシはただ会長に
長く拘束されておる
お前さんの身体を解して
やれと言われて来たんじゃ

エマとの個人的な関係性まで……
どっからそんな情報を……

拘束のせいで
身体中不調じゃろう
お前さんはよう頑張っとる
労ってやらんとなあ

ほほほ
ピースの力で
常に発情しとると
聞いておったが

抵抗心の強い事じゃ

唇を奪った日には
ワシの舌が
噛み切れそうじゃわい

グイッ

私はこれから……
この老人に弄ばれるのね……
こんな男に身体を
触られるなんて
ごめんなさい……
あなた……ゆうた……
穢される私を
許して……

屋敷には軍が手出し
出来ない程強い怪人がいる
今は
拷問を耐え切つて
私をなんとか
しなければ……

グッ

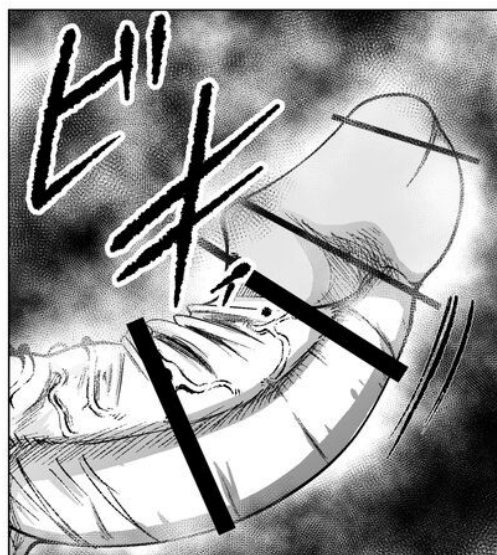
グッ

あっ！

グッ

グッ





お。お。お。

孕もうとする
女の姿勢は
やはり四つん這いが
ええのう

牝犬の様に
尻を突き出す

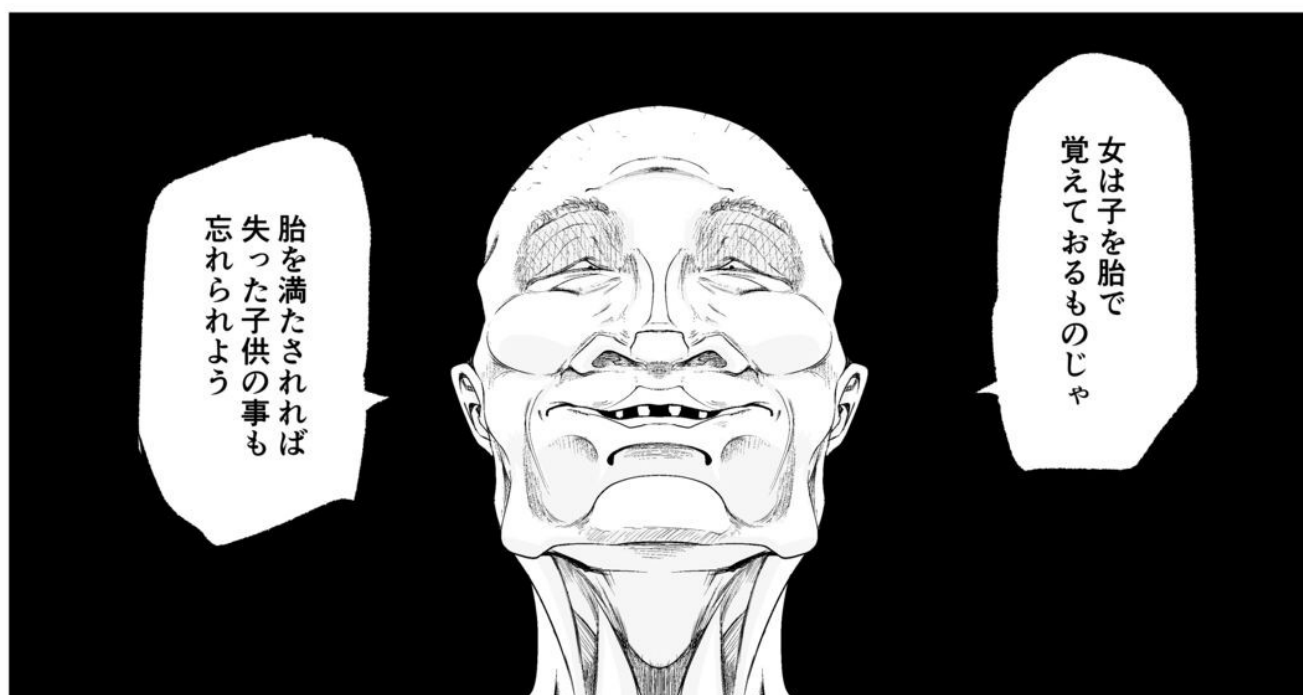
女だけがとる
浅ましい姿勢じゃ

……
っっ!!



女は子を胎で
覚えておるものじゃ

胎を満たされれば
失った子供の事も
忘れられよう

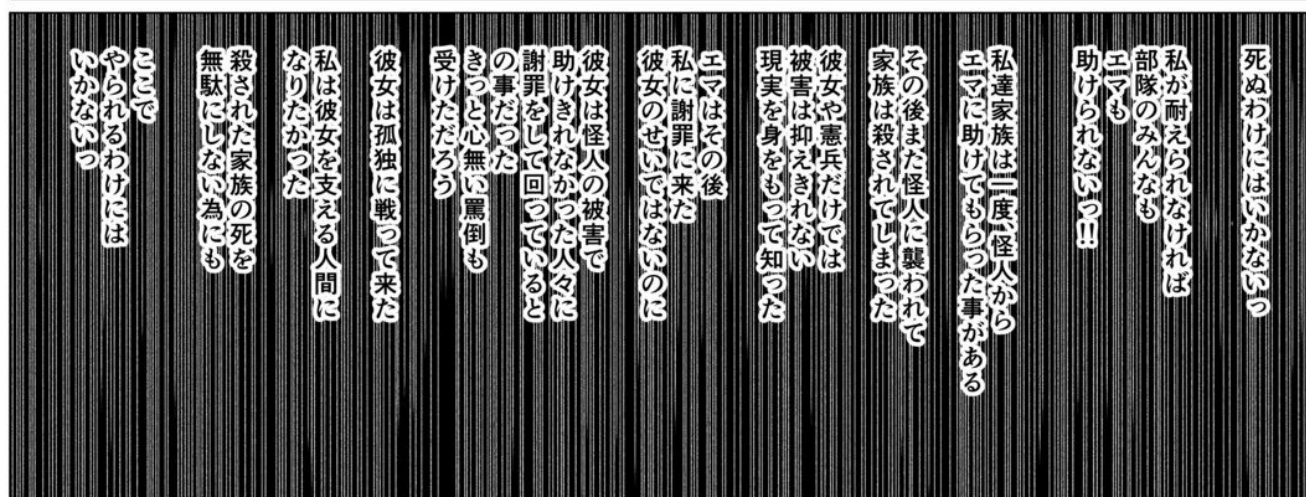






息が出来ない程
大きいっ！
苦しいっ！！

こんなので動かれたら
身体がぐちゃぐちゃに
なってしまうっ！！



死ぬわけにはいかないっ

私が耐えられなければ
部隊のみんなも
エマも
助けられないっ！！

私達家族は二度、怪人から
エマに助けしてもらった事がある

その後また怪人に襲われて
家族は殺されてしまった

彼女や憲兵だけでは
被害は抑えきれない
現実を身をもって知った

エマはその後
私に謝罪に来た
彼女のせいではないのに

彼女は怪人の被害で
助けきれなかった人々に
謝罪をして回っていると
の事だった

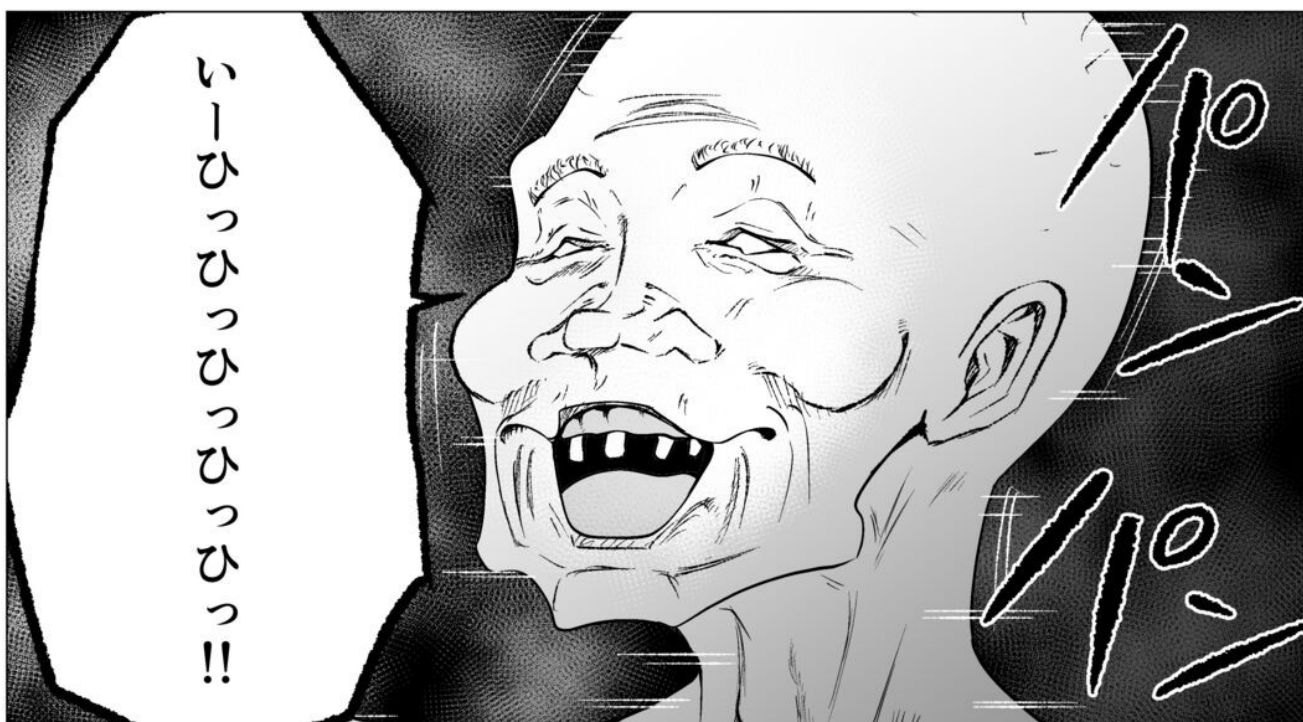
きつと心無い罵倒も
受けたらう

彼女は孤独に戦って来た

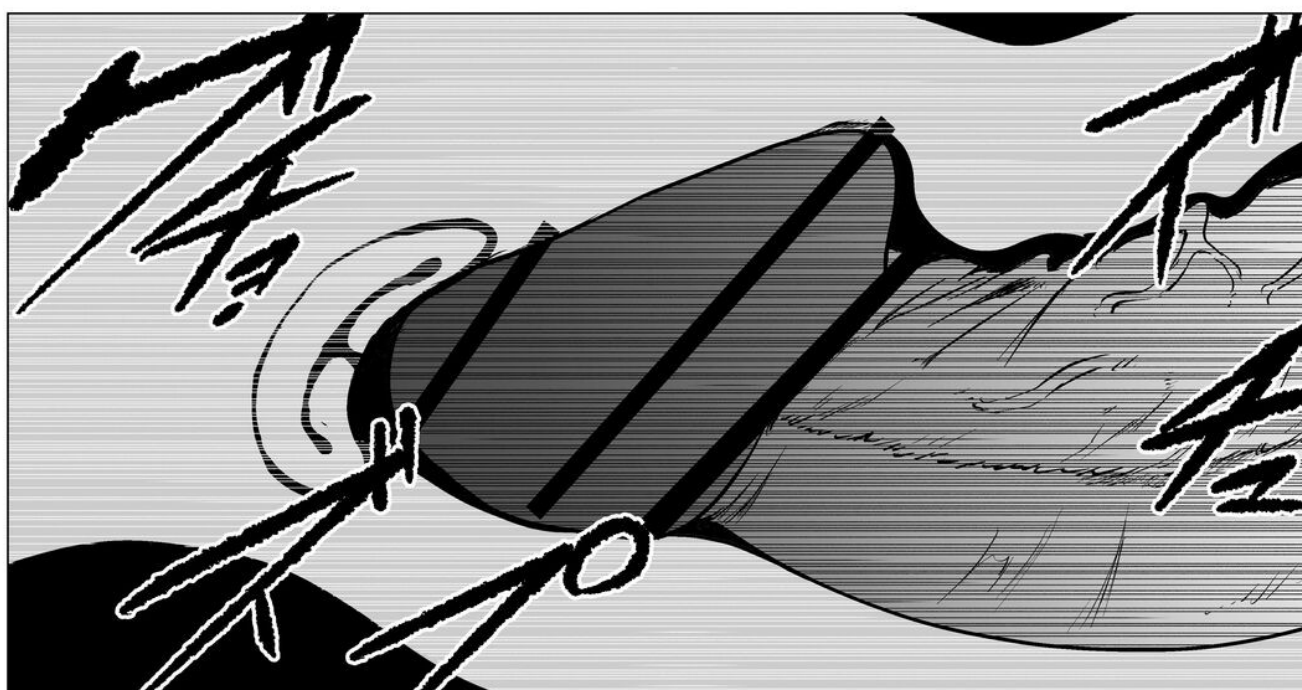
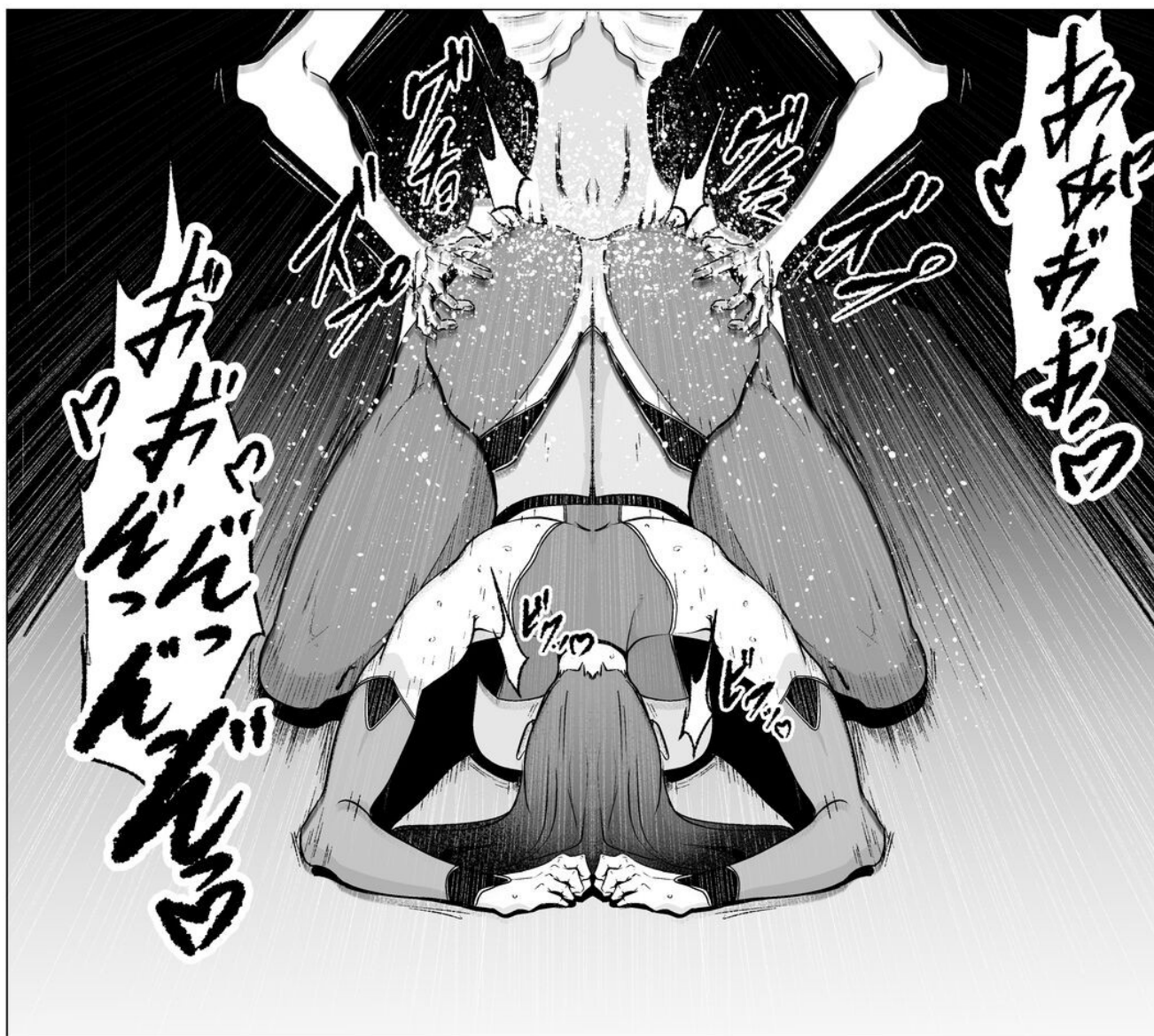
私は彼女を支える人間に
なりたかった

殺された家族の死を
無駄にしない為にも

ここで
やられるわけには
いかないっ



いーひっひっひっひっひっ！！





あなた…っ



こゝろ

のう奥さん
聞きたいんじやが

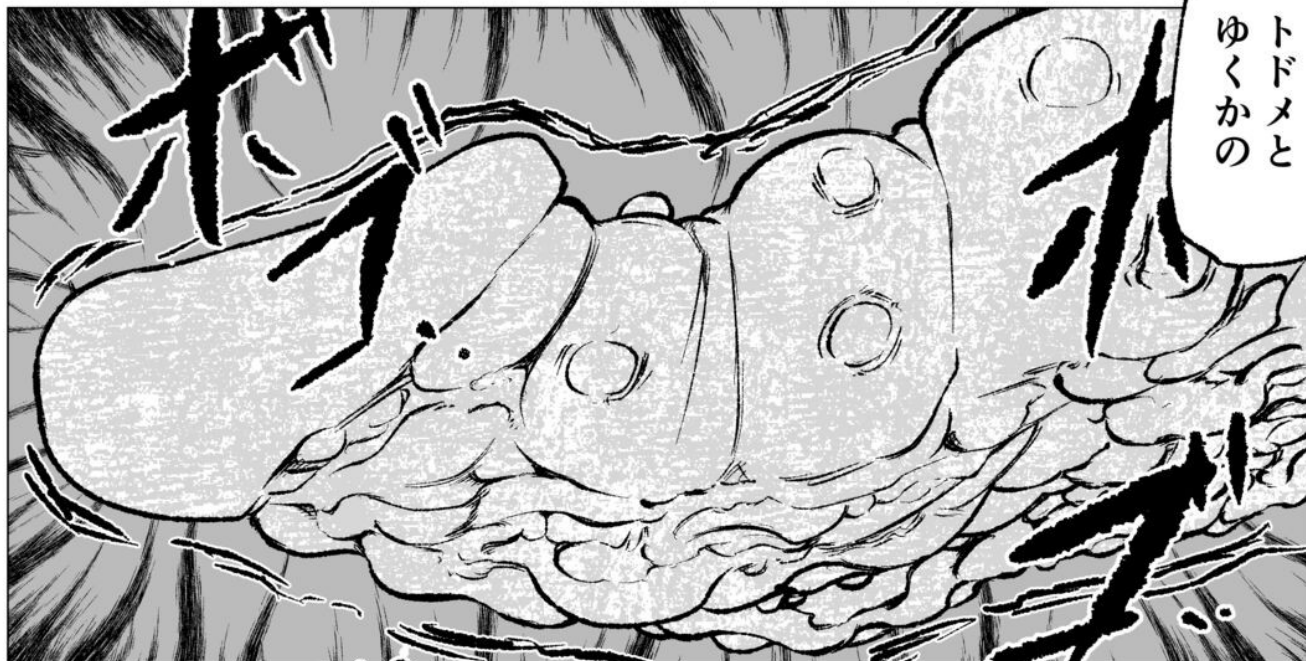
死んだ甲斐性なしの旦那に
挿れられたチンポと
比べてどうじゃ？

旦那に種付けされた時
を思い返して

旦那のチンポでこんなに
よがり喘いだ事はないの
ではないかのお？



さて
トドメと
ゆくかの



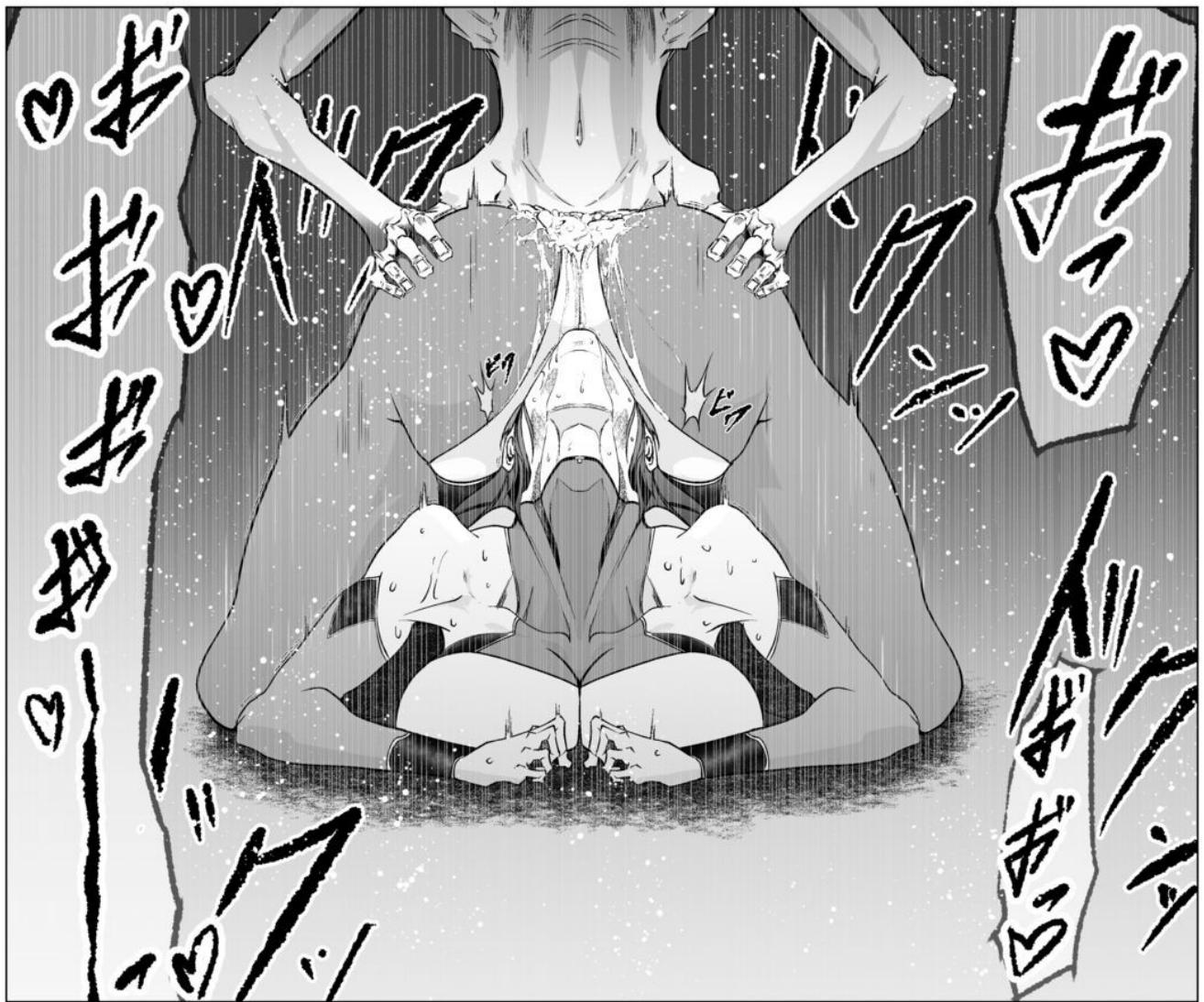
言い忘れておったが
ワシは怪人化した
元人間での

会長が怪人化を受ける際に
モルモットとして
ワシが怪人化させられたんじゃ

チンポを自在に
変えられる上に
精力は無限に溢れてのう

お前さんの様な女を
手籠に出来るとは
なんと幸福な人生か

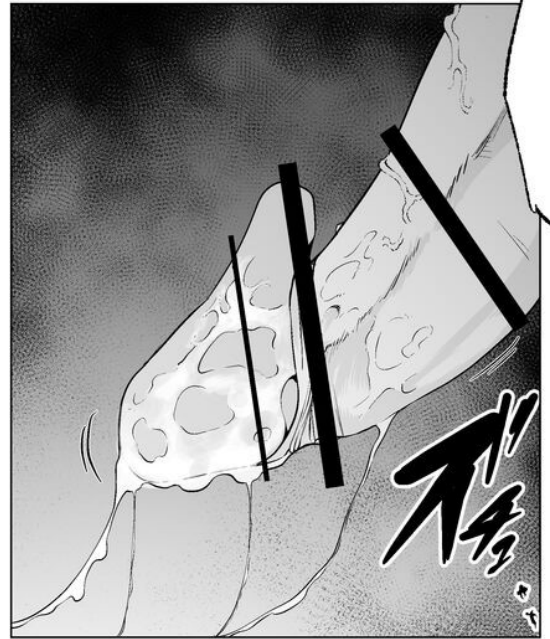




ごめんなさい…
あなた…ゆうた…

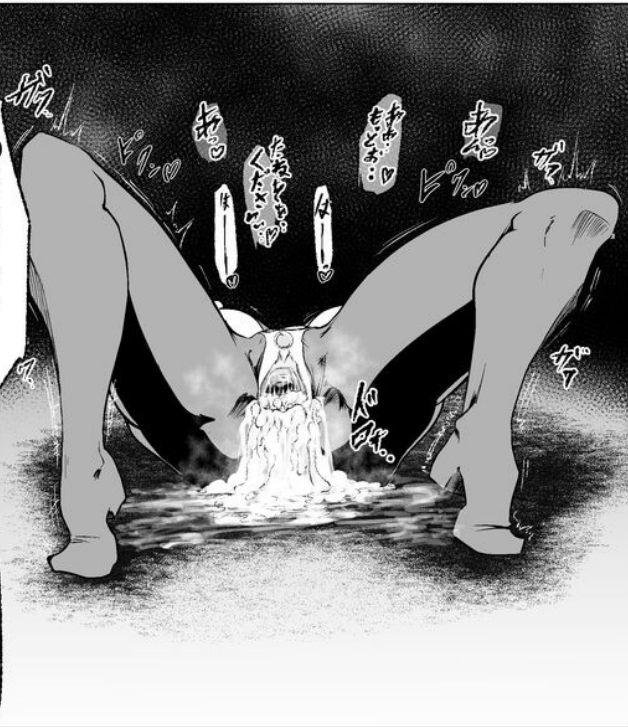
みんな…
エマ……

いひっひっひっ
何十回出したかのう



10回目辺りから
ワシの命令でなんでも
口にする様になったのう

夫を貶して惨めにワシに
慰みを請う姿は
死んだ夫にも
きつと届いたじやろう



会長からは
好きにして良いと
言われておる
これからの生涯を
雌奴隷として
生かしてやるわい

とりあえず
怪人を楽しませるための
雌の身体に改造してやろう



既に種は仕込んだ
あとは勝手に胎が
特別な孕み袋に
変わる
邪魔な四肢を
剥ぎ取り
ダルマに加工して
肉人形にしてやろう

完成が楽しみじやて
いひっひっひっ

